

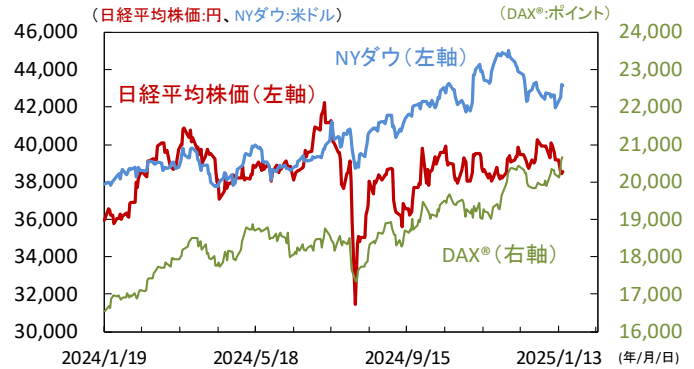
米国主要株価指数は方向感乏しい展開続き反落

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	1月16日	1月15日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,572.60	38,444.58	128.02
	- CME日経平均先物(円)	38,335.00	38,755.00	-420.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,688.31	2,690.81	-2.50
	参考) 東証REIT指数	1,642.70	1,640.14	2.56
米国	NYダウ(米ドル)	43,153.13	43,221.55	-68.42
	S&P500	5,937.34	5,949.91	-12.57
	- S&P500配当貴族指数	4,634.07	4,583.86	50.21
	ナスダック総合指数	19,338.29	19,511.23	-172.94
ドイツ	DAX®指数	20,655.39	20,574.68	80.71
英国	FTSE100指数	8,391.90	8,301.13	90.77
豪州	S&P/ASX200指数	8,326.96	8,213.27	113.69
中国	上海総合指数	3,236.03	3,227.12	8.91
香港	ハンセン指数	19,522.89	19,286.07	236.82
インド	S&P BSE SENSEX指数	77,042.82	76,724.08	318.74
ブラジル	ボベスパ指数	121,234.14	122,650.20	-1,416.06
先進国	MSCI WORLD	3,746.86	3,744.47	2.39
新興国	MSCI EM	1,066.67	1,055.80	10.87
商品	(単位:米ドル)	1月16日	1月15日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	78.68	80.04	-1.36
金	COMEX先物(期近物)	2,750.90	2,717.80	33.10
10年国債利回り	(単位:%)	1月16日	1月15日	前日差
日本		1.200	1.250	-0.050
米国		4.614	4.654	-0.040
ドイツ		2.547	2.560	-0.013
オーストラリア		4.497	4.624	-0.128
為替(対円)	(単位:円)	1月16日	1月15日	前日比%
米ドル		155.16	156.47	▲0.84
ユーロ		159.85	160.99	▲0.71
英ポンド		189.90	191.53	▲0.85
カナダドル		107.81	109.11	▲1.19
オーストラリア(豪ドル)		96.38	97.43	▲1.08
NZ(ニュージーランド)ドル		87.00	87.83	▲0.95
シンガポールドル		113.56	114.46	▲0.79
中国人民幣元		21.188	21.343	▲0.73
インドルピー		1.7962	1.8119	▲0.87
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9473	0.9585	▲1.17
メキシコペソ		7.443	7.646	▲2.66
ブラジルリアル		25.650	26.043	▲1.51
トルコリラ		4.363	4.409	▲1.04
ロシアルーブル		1.4974	1.5258	▲1.86

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
 出所) MSCI、Bloombergより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2025年1月16日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

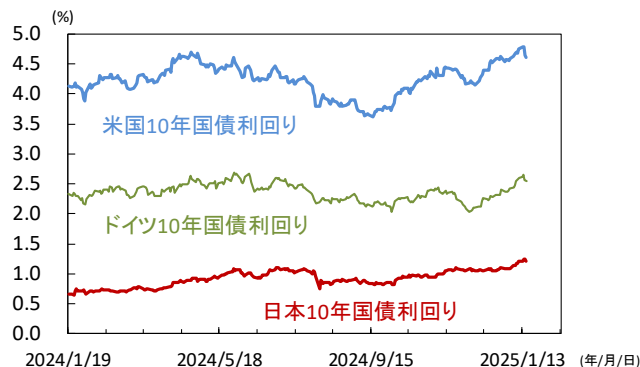
- 日経平均株価は6日ぶり反発。前日の米インフレ懸念後退を受けた米ハイテク株高を好感。一方、TOPIXは小幅安。20日のトランプ米大統領就任を控え警戒感も。
- 台湾積体回路製造(TSMC)の昨年10-12月期決算はAI向け半導体需要好調で、四半期ベース過去最高益に。
- 欧州中銀(ECB)は昨年12月理事会議事要旨を公表。インフレの基本シナリオが今後数カ月・数四半期確認されれば段階的利下げが適切と判断していたことが判明。
- 米国株下落。大手銀行決算は概ね良好もIT株安が重し。米景気指標は、昨年12月小売売上高が前月比+0.4%と底堅くも予想比下振れ、1月11日終了週の新規失業保険申請件数は21.7万件と低水準も前週比増加、1月フィラデルフィア連銀製造業景気指数は+44.3へ急回復とまちまち。連邦準備理事会(FRB)ウォラー理事は良好なインフレ続けば、3月利下げの可能性排除せずと示唆。

◆本日の注目点:

トランプ再来を前に中国景気は足場固めたか

中国で2024年10-12月期実質GDPを公表。予想は前年比+5.0%、通年で同+4.9%と政府目標+5.0%前後に対し辛うじて合格ラインか。また同年12月鉱工業生産(前年比+5.4%予想)、小売売上高(同+3.6%)、都市部固定資産投資(年初来、同+3.3%)が、米トランプ政権発足を前に景気安定化を印象付けられるか注目。(瀧澤)

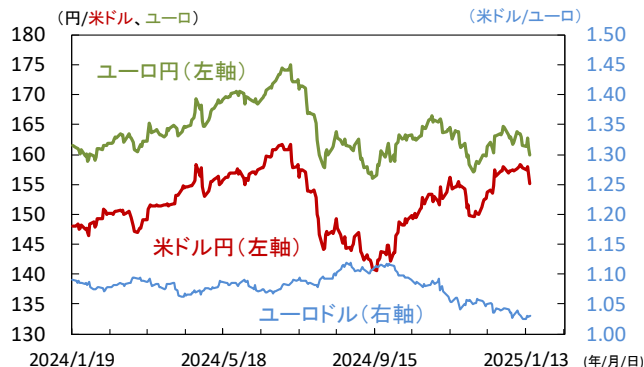
主要国金利の動き



注) 直近値は2025年1月16日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2025年1月16日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会